

うたた寝するたびに レンズが目には張りつく

寝る前に外す、終日装用タイプのレンズを着けたまま寝てしまう人は要注意。角膜が酸素不足になって、目がむくむため、外しにくくなり、目に負担もかかる。連続装用タイプならOK。



レンズを目にはめるのが怖い…

着け外しの仕方をきちんと覚えれば大丈夫。ソフトレンズは装着感がよいので、初めてでも使いやすい。まずは眼科で相談を。

ソフトレンズを外すと痛みを感じる

ソフトレンズは黒目を覆って動きも少ないため、障害に気づきにくいという欠点も。痛みや赤みが続くようなら診断を受けて。



長時間装用には酸素を通すハードレンズ
スポーツをするならずれにくいソフトレンズ
自分に合ったレンズを選んで **“快適eye”** ライフをGET！

徹底比較
レポート

コンタクトレンズで、 目指せ！ ストレスフリー

日本のコンタクトレンズ人口は約1500万人。しかし、10人に1人がコンタクトによる眼障害を抱えています。“レンズが合っているか” “正しく使用しているか” このふたつがとても重要なんです。

ハードレンズをつけると 目がゴロゴロする

ハードレンズの場合、装用開始時はゴロゴロとした違和感があるが、1か月くらいで慣れてくる。違和感が続く場合は無理せず眼科へ。



レンズ装用時に かゆみや充血が



アレルギー反応とコンタクトレンズの刺激で結膜炎を起こした上瞼の裏側。

疾患が発生している可能性もあるので、放っておくのは×。アレルギーのある人は1日使い捨てタイプが◎

ふと気づくとクリアに見えない…

レンズに汚れや傷がついてしまうと、見えづらくなり、目にもよくない。変だなと思ったらそのまま使い続けず、レンズの点検をしてもらうことが大切。



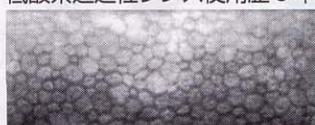
無理な使い方角膜炎の細胞が減少！

酸素透過性が低いレンズを長期間使用すると、角膜の細胞が未使用の人に比べ減少し、大きさにバラつきが発生する恐れが。

コンタクト未使用



低酸素透過性レンズ使用歴5年



写真提供/メニコン

「ファッションアイテムのように思っている人もいるようですが、コンタクトレンズは、心臓のペースメーカーと同じ、高度管理医療機器」。必ず眼科専門医に相談して自分の目に合ったレンズを選び、定期検査をする必要があります。また、目も絶えず呼吸しているので、酸素を通すかどうかでもレンズ選びの際には大事な要素。長時間着けることの多い人は、酸素透過性の高いハードレンズや、ソフトレンズでも酸素を多く通すシリコンハイドロゲル素材を選ぶなどの配慮が必要です」

腫は呼吸しています 大切なのは酸素透過性



あすみが丘佐野眼科 院長
佐野研一さん

医学博士。あすみが丘佐野眼科
①千葉県千葉市緑区あすみが丘1-18-2F ☎043-295-3900